

**製品名: MGEA5 (10M9) ウサギモノクローナル抗体****カタログ番号: AMRe13855**

研究使用のみ

**概要**

説明	組換えウサギモノクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,IP,IF-P
反応性	人間
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	モノクローナル
形態	液体
濃度	0.5mg/ml。本製品の濃度はロットによって異なる場合があります。
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	ウサギ IgG（リン酸緩衝生理食塩水、pH 7.4、150mM NaCl、0.02%新型保存料 N、50%グリセロール含有）。短期保存は+4°C、長期保存は-20°Cで保存してください。凍結融解サイクルは避けてください。
精製	アフィニティー精製

**応用**

希釈倍率	WB 1:1000-1:5000,IHC 1:50-1:100,IP 1:20-1:50,IF-P 1:50-1:100
分子量	103kDa

**抗原情報**

遺伝子名	OGA
別名	HEXC; MEA5; Mgea5; NCOAT; OGA;
遺伝子 ID	10724.0
SwissProt ID	O60502
免疫原	ヒト MGEA5 の合成ペプチド

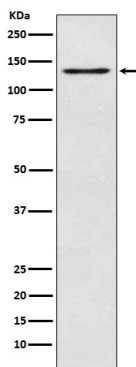
**背景**

アイソフォーム 1: O-グリコシル化タンパク質から GlcNAc を切断するが、GalNAc は切断しない。アイソフォーム 3: O-グリコシル化タンパク質から GlcNAc を切断するが、GalNAc は切断しない。[アイソフォーム 1]: O-グリコシル化タンパク質から GlcNAc を切断するが、GalNAc は切断しない。p-ニトロフェニル- $\beta$ -GlcNAc および 4-メチルウンベリフェロン-GlcNAc を基質として利用できるが、p-ニトロフェニル- $\beta$ -GalNAc または p-ニトロフェニル- $\alpha$ -GlcNAc は基質として利用できない (in vitro) (PubMed:11148210)。アセチル CoA には結合せず、ヒストンアセチルトランスフェラーゼ活性も有さない (PubMed:24088714)。

## 研究分野

シグナル伝達

## 画像データ



JAR 細胞溶解物における MGEA5 発現のウェスタン ブロット分析。